

新図書館西敷地利活用事業に関する市民説明会 質疑応答結果（要約）

【10月14日（日）】

	質問	回答	発言者
1	平成29年11月に高知大学の役員会において、事業に参画することが決定されており、資料には大学の賃料等の記載もある。	事業者選定については、平成30年1月にプロポーザル審査委員会による審査を行い、最優秀提案者とする答申を同じく1月にいただいているので、それ以前に決定している事実はない。 資料は大学のものであり意図は分からないが、市としては事前に決まっていた事実がないことは明確に申し上げる。	岡崎市長
2	予定する建物のトイレの数を教えてほしい。 避難所として必要なトイレの数が整備出来ないのであれば広場にしてほしい。	実施設計等がまだできていないためトイレの数は把握していない。	松村商工観光部長
3	収入はどのくらい見込まれるのか。	貸付料としては、現時点で年間1,600万円程度を想定している。50年で計算すると8億円程度である。 税込としては、固定資産税が未評価であり不明である。	岡崎市長
4	事業者の選定過程を非公開にしたことで、憲法で保障されている「市民の知る権利」が守られていない。	プロポーザルへ提出された事業提案には、企業の知的財産が詰まっております、企業情報である。 今回の経過については、非公開としてきたが、方向性を決定した現在は、企業情報を除き情報公開請求があれば公開をしている。	岡崎市長
5	新聞への投稿されている意見もほとんどが広場にしてほしいというものである。 高知の良さは、形にならない情や海・山・川が素晴らしいことであり、箱物を建てて空が小さくなるのは許せない。	西敷地は、市民の財産であるのは間違いないが、都心の一等地であることから以前より高度利用で活用したいと一貫して説明してきたので、ご理解をいただきたい。	岡崎市長
6	図書館はともかく、思い出の土地である追手前小学校跡地を民間事業者に50年も貸すことは許せない。	—	—
7	50年後更地になれば、高知大学の機能は朝倉に移るのか。	今回事業提案者が、高知大学と共同で事業を実施することとしているため、本市としても直接高知大学に考えを伺っている。その中では、中心市街地へ出て地域の方々と連携をしながらやって行きたいと、そういう意思は確認している。 高知大学は、本市にとって重要な大学であり、本事業が終了した後も、お互いに相談しながら連携をしていきたいと考えている。	中澤副市長
		高知大学とは、平成18年に連携協定を締結しており、知恵をいただき市の政策に役立てている。必要な大学であり、今後もそういう認識で政策を進めていく。	岡崎市長

8	<p>企業の知的財産権を守るために非公開としたことで、市民を置き去りにになっていると感じる。</p> <p>広場機能が1番とした市民アンケート結果が反映されていない。</p>	—	—
9	<p>第一期の中心市街地活性化基本計画には、広場整備との記載があるが、平成28年に立ち上げた、新図書館西敷地利活用検討委員会では、高度利用することに変更されているが、広場はどこで消えたのか。</p> <p>本来、仮設市民図書館が撤去されれば、計画どおり広場として整備をしないといけないのではないか。</p>	<p>平成23年11月の検討部会の中間報告では、よさこい文化を発信するエリアとして示され、広場と施設の複合施設として議論をしている。</p> <p>また、当時は市の財政状況も厳しかったため、民間活力の活用ということも大きなポイントとなっている。</p> <p>第一期の中心市街地活性化基本計画には、今後の西敷地の利活用方法の幅を勘案し、3項目に登載した中で、平成30年3月までの計画期間内に具体的な事業内容を検討するとして、新図書館完成までの間は広場として活用する予定として事業登載したが、新図書館の建設事務所、仮設市民図書館として活用することとなったため、工事期間中の広場整備は行わないこととした。</p> <p>この間、高知よさこい情報交流館や県立大学永国寺キャンパス、帯屋町チエントロが誕生し、周辺の環境も変化したため、改めて、西敷地の利活用について検討を行い、平成30年度からの計画を見直すこととした。</p>	岡崎市長
10	<p>高知大学の内部では、今回の事業への参画に反対する声があると聞いているが、なぜ、進められているのか疑問である。</p>	高知大学の役員会等で参画の意思決定をしたと聞いている。	中澤副市長
11	<p>説明資料にある緑地面積は流入人口のことを考えられていない。また、中央公園や中央緑地が緑地と言えるのか。</p> <p>災害時に観光客も逃げられるような小高い丘がある広場などを中心地に整備することが宝になると信じている。</p>	利活用方法については、文教施設や産学官連携センターなどの話もあり、そういう意味で高度利用するというで一貫して検討してきた。	岡崎市長
12	<p>この事業に、環境アセスメントの考え方は入っているか。事業計画が妥当かどうか確認する必要があるが、確認できる資料がない。</p>	<p>通常、環境アセスメントは大規模な開発の際に、周辺環境に影響がある時に行うものであり、商業エリアにある西敷地ではその必要はない。</p> <p>50年間の事業については、公認会計士の意見も参考とし継続できると判断し方針を決定した。なお、詳細は今後さらに確認をしていく。</p>	岡崎市長
13	<p>提示されている自己資金では、この規模の事業は成り立たないのではないか。</p>	—	—
14	<p>賃料と補助金等を相殺すると市にほとんど利益はない。</p> <p>高知大学が入居することには反対しないが、なぜ、民間事業者が間に入れるのか。癒着しているのではないか。</p> <p>図書館と同じように行政として整備をすればいい。</p> <p>賃貸住宅は文教施設ではない。</p>	企業との癒着については断言してありえない。	岡崎市長

15	<p>次の市民説明会（10/17）までに、オーテピアの絵と敷地境界線を描いた図面を示してほしい。</p> <p>高知大学が入居するために建設するものであるなら、拘束力がある約定書などを大学側に求めたうえで、12月議会に諮ってもらいたい。</p>	<p>図面は事業提案者のものであり加工は難しい。17日までに図面を示せるか本日は回答できないが、事業者には話をさせていただく。</p>	松村商工観光部長
16	<p>オーテピアは家族連れで来られる施設なので、隣には広場があるといい。</p> <p>市長は9月議会において、補助金については国土交通省に直接確認を行ったと発言をしたが、それは本当か。また、県市の負担はいくらかとなるのか教えて欲しい。</p>	<p>7月の集中豪雨に関連し、国土交通省を含む関係省庁に陳情に行った際に、国土交通省の担当部局において、補助対象になることは確認をしたが、12月議会で定期借地権設定の議決を得る必要もあり、具体的な協議はしておらず、金額が確定したものではない。</p> <p>参考として帯屋町チェントロを例に挙げると、国県市合わせて約4億円程を負担している。</p>	岡崎市長
17	<p>1階の活用方法や大学の入居については理解できるが、住宅部分については、県外から移住者を呼ぶとすれば、図面から考えると間取りは1LDK程度であり狭いのではないか。マイカーを持ち込むことも想定されるが、駐車場整備の計画もないため、周辺で駐車場を借りるしかなく利用者の負担が増える。</p> <p>移住者等で住居部分が埋まらなければ、その他の入居者確保策も考えているのか。提案と違う形で市有地を借すのであれば、それも含めて議会に諮ってほしい。</p> <p>また、補助金が公益性のない範囲まで適用されるのは反対である。</p> <p>ここまで反対の意見があるのであれば、市長の任期の間は、空き地で残し、次期市長選で民意を問うべきと考える。</p>	<p>提案されている間取りは、1LDKが多いが、2LDK等も想定をしている。</p> <p>補助金については、大学部分と共用部分が補助対象になると確認をしている。</p>	中澤副市長
18	<p>歴史ある大事な追手前小学校の跡地を貸して収入を得なければならないほど、市の財政は逼迫しているのか。</p> <p>この少子化の時代に50年間大学が存続していけるかも心配である。</p> <p>100年先を見通した計画をしっかりと立ててほしい。</p>	<p>本市の財政は税収も乏しく、豊かな状況ではなく、やり繰りをして対応をしている状況である。</p> <p>このような状況で、災害対策や小中学校の空調整備などの新たな課題も出てきており、財源も必要であり、活用できるものは活用していきたいと考えている。</p>	岡崎市長
19	<p>市外の方も広場になることを期待していると思う。西敷地の利活用についてはもっと県全体に広報をしてほしい。</p> <p>成熟した都市の中心地には広場があるので、そういった整備をしてほしい。</p>	—	—

20	<p>今日の議論は、県や大学の取組に関する紹介がなかったので、公平ではなかったと感じている。</p> <p>今、地方大学は存続が危ぶまれており、高知の人口規模から考えると3つの大学があることは国でも議論されている。</p> <p>高知大学は各地域にコーディネーターを配置して特色を出しており、中心市街地でもCCRCに代表されるような、アクティブシニアといわれる、リタイヤしたが技術やノウハウがある方々と大学生が一緒になることで、新しいものづくりができるのではないかと思う。</p> <p>他県ではこういった考え方は主流となりつつあり、一つの新しい取り組みとしてはいいのではないかと思う。</p> <p>アクティブシニアが集まる、あるいは二段階移住の一段目としての活用が期待される。</p> <p>公園の重要さも理解できるので、たとえば、1フロアの一角を公園にするなど方法はあるのではないか。</p> <p>高知は、中心市街地に大学生や若者が少ない。帯屋町チェントロなどが出来て多少は流れが変わったが、提案されているような施設が整備されることによってさらに変わってくるのではないか。</p> <p>この施設が高知の行方を大きく握っているの、色々な視点から議論する必要があるのではないか。</p>	—	—
21	<p>商売人の立場では大賛成。中心市街地活性化は国の施策であり、計画を策定し県市と取り組んできている。</p> <p>商業の立場では、集客力のある施設が建つと人通りが増え、売り上げが上がれば地域にも還元できるので、必要な事業であると考えており、ぜひ進めてもらいたい。</p>	—	—
22	<p>アンケート結果は広場であり、マンションとは書いていない。オーテピアが驚くほど大きいのに、その横に10階建てのビルができると窮屈な街になる。</p> <p>12月議会で定期借地権設定議案が否決されると広場になるのか。</p> <p>企業は50年間に責任を持てるのか。説明会には事業者も参加して説明をさせるべきだと考える。</p>	—	—

23	<p>中心市街地を活性化するのであれば、広場がなくてはならない。</p> <p>これから50年先、高知大学も現状のままでは成り立たっていないことを踏まえること。</p> <p>妥当性検討委員会で妥当性がないと判断されており、事業は仕切り直すべきだと考える。</p>	—	—
24	<p>高知市議会に配布した資料は50年間の収支や大学の資料などが非公開となっており、これでは議員も判断はできない。</p> <p>すべての資料をHPに出すなど情報を公開し、説明を尽くすべきだ。</p>	企業の資金計画の詳細であり、法人情報に該当するため情報公開条例上公開はできない。	岡崎市長
25	<p>17日までの説明会までに、パース図に図書館の絵と隣地境界線を描いて欲しい。</p>	—	岡崎市長